



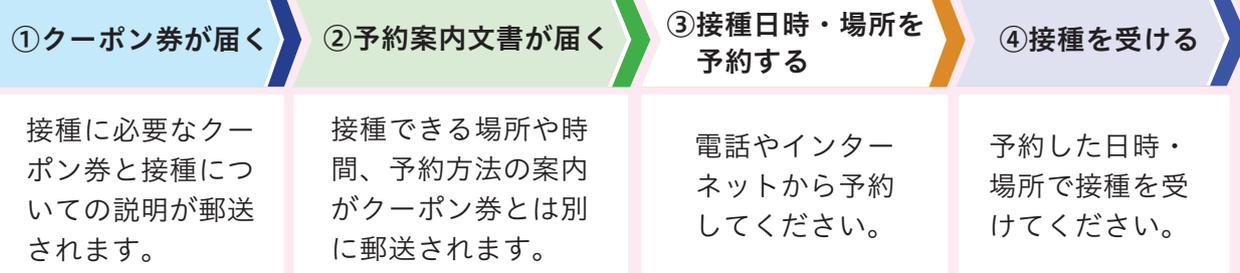
新型コロナウイルスワクチン接種に必要なクーポン券を発送します

新型コロナウイルスワクチン接種推進室 ☎ 85 - 6312

現在、本市では、国が示したスケジュールに基づき、市内の医療機関や公共施設での新型コロナウイルスワクチン接種の準備を進めています。まずは、**3月下旬に、市の住民基本台帳に登録のある65歳以上の人（昭和32年4月1日以前に生まれた人）へ接種に必要なクーポン券を発送します。**

<接種までの流れ>

※2月12日時点



※詳しくは、郵送されるクーポン券、予約案内文書をご覧ください。

<接種費用> 無料

<64歳以下の人への接種開始時期>

ワクチンの供給状況や高齢者への接種の進行状況により、国から示されるスケジュールに基づき、市からクーポン券と予約案内文書を送付します。

※ワクチンの供給状況によっては、スケジュールが変更される場合がありますので、最新情報は市ホームページで確認してください。



市ホームページ



2021

交通事故の減少と
コロナへの対応

昨年、令和2年（2020年）の市内における交通事故の人身事故発生件数及び死亡者数は、今までで最も少ない1145件であり3人でした。全国的にも交通事故は減少しています。第一次交通戦争といわれた昭和45年（1970年）と車の保有台数が急増してきた平成16年（2004年）、そして昨年を比較してみました。下の表にありますように、発生件数は車の保有台数とともに増加してきましたが、平成16年をピークに、大幅に減少しています。死亡者数は車の保有台数に関わらず減少しています。

これは、「医学の進歩」や「自動車の安全性に関する技術や装備が充実」「交通ルールの規制の強化」などが考えられますが、大きな要因は、自動車を運転する人も歩行者も交通安全に対する意識が高まってきた結果であると思います。車に乗れば、シートベルトを無意識のうちに締めるようになってきました。また横断歩道では、歩行者優先の意識、行動が徐々に多くなっています。

安全な車を造る技術の追求とともに、車に乗る人も歩行者も、誰もが安全で快適な社会をつくらうという一人一人のモラルの向上が全てだと思います。

新型コロナウイルス感染症との闘いも1年余りになります。「交通事故を起こさない」「車に乗るときはお酒を飲まない」「交通ルールを守る」という自動車メーカーや警察、道路管理者、市民、それぞれの立場での取り組みと同様に、「感染しない」ための、ワクチンや治療薬の開発とともに、「マスクを着ける」「手指を洗う」「3密を避ける」など、「うつさない、うつされない」ための基本的な一人一人の行動が、交通事故の減少のように、感染の終息につながると思います。お互いを思いやる社会にしたいものです。

■「自動車の保有台数」「人身事故発生件数」「死亡者数」の推移 ※赤字はピーク

年	主な出来事	自動車の保有台数(千台)	人身事故発生件数(件)	死亡者数(人)
令和2年(2020年)	新型コロナウイルスの流行	81,850	30万9000	2,839
平成16年(2004年)	自動車の保有台数の急増	77,390	95万2720	7,436
昭和45年(1970年)	第一次交通戦争	16,529	71万8080	16,765

出典：警察庁報道発表資料「令和2年中の交通事故死亡者数について」、一般社団法人自動車検査登録情報協会資料「自動車保有台数の推移」より